



目次	
The Good News Café	1
第 3 回一宮学園で映画を観よう	2
シリーズ子どもの貧困—1 募集!	3
寄付者のご紹介	4



## 内定が決まりました！ やったね、M 子さん！

M さんは高校の卒業と同時に一宮学園を卒園し、1 人暮らしをしながら、保育士の資格をとるための専門学校に進学しました。いっぽでは『物』と『心』の支援を提供させていただいた子です。

学園にいたころは、「ああ、1 人になりたい」と願ったかもしれませんが、いざ 1 人暮らしを始めてみると、淋しい気持ちになったのでしょうか。はじめのうちは毎日のように私と電話で話をしました。「入学式に着て行くブラウスの色は白じゃないとダメかなあ」とか「宅配便はどうやって受け取るの？」など、日常の些細な疑問やつぶやきです。何度かアパートを訪ね、一緒に食事をとることもありました。

夏はエアコンが無く、暑くてたまらないというので、寄付していただいた扇風機を届けたこともあります。また、小さな整理ダンスが手に入ったので、これもまた『物の支援』として届けました。整理整頓がちょっと苦手な子でしたから、衣類やタオルをいったん全部出して、効率のよい場所にしまい直すことにしました。正座した膝の上で服をたたみながら、やっぱり女同士、おしゃべりがつきなかつたことが思い出されます。

そうして、1 人暮らしが慣れてくると、自分で上手に気持ちの折り合いをつけ、学校の先生や友達の手をお借りしながら、悩みも解決しているようでしたので、私たちいっぽは少し距離をとった見守りへと、支援の加減を心がけました。

来春は新しい土地へ住まいが変わります。そして初めての職場。楽しみな反面、緊張もするでしょう。これまでも頑張りすぎて体調をくずしてしまうことがあったので少し心配ですが、持ち前の素直さできっと皆さんから愛されることでしょう。

M さんはいよいよ社会に一步を踏み出します。これもひとえに皆様のお力添えの賜物と心から感謝申し上げます。

## 第 3 回

### 一宮学園で映画を観よう！

石川県在住、養護学校教諭の山元加津子さん。  
加津子さんが語る、学校の子供達のお話は  
“いのちの尊さ”

“いのちを生かす大きな存在”にまで触れ  
聞く人の魂を揺さぶり  
全国で感動を呼んでいます。

「1/4 の奇跡～本当のことだから」は  
そんな加津子さんに語っていただきながら  
“ひとりひとりが、とっても大切な存在なんだ”  
”ありのままの私たちが、大丈夫なんだ”  
ということを描き出していく  
ドキュメンタリー映画です。

この映画は、映画製作経験ゼロ  
二児の母である入江富美子さんが  
ある大晦日の夜に  
制作をひらめいて一念発起し  
創られた映画です。

### 11月8日(土)一宮学園体育館

おとな 500 円 子ども無料

第一部 パパママタイム

9:30～11:30 受付 9:00

第二部 語り合う会

13:00～16:30 受付12:30

参加人数の把握のため**ご予約ください！**

- ① FAX 0475-42-3545
- ② 電話 080-6535-0977 荒木
- ③ メール [hajimeno.1.2.3po@gmail.com](mailto:hajimeno.1.2.3po@gmail.com)

お名前、連絡が付きやすい電話番号、人数、  
ご希望の部をお知らせください。



大晦日の夜、  
ありのままの自分を丸ごと受け入れたときに  
「ありがとう～」という気持ちが  
自分の中から溢れ出てくる  
という体験をしました。

そして  
自分の中の”ありがとう”が増えたとき  
この宇宙全体の“ありがとう”の量が増えた  
という確信がありました。  
その瞬間  
「私は宇宙に感謝の量を増やす映画を創る！」  
そう決意します。

経験なし、人脈なし、資金なし  
すべてゼロからのスタート。  
しかし様々な人との出会いと応援によって  
映画は完成し  
2007年2月11日初上映会が開かれます。  
手作りのイベントに関わらず  
約1000名の方が観てくださり  
その後も口コミで自主上映の輪が  
全国、海外へ広がっています。

## シリーズ 子どもの貧困 - 1 ~日本に子どもの貧困はあるのか~

一般の人にとって貧困というと、途上国のストリートチルドレンや難民の子ども、日本であれば戦後の食べる物に困っていたような状況をイメージされると思います。それは「絶対的貧困」と呼ばれる状況です。

一方、その社会において当たり前とされる生活ができない状況を「相対的貧困」といいます。たとえば、日本では家がなくホームレスになっても、店先で残飯をあされば生きてはいけるでしょう。でも、それは普通の生活とは言えません。家があり、トイレもあり、1日2食か3食、夕食には主食と副食がセットになった食事を食べられるような生活が普通です。そう考えると「生きてはいけるけれど、普通の生活はできない」という環境下にいる人は結構いるのです。日本の子どもの約16%が相対的貧困に当てはまり、OECD(経済協力開発機構)33か国で比べると、日本の子どもの貧困率は10番目に高く、それは海外諸国と比較しても非常に高い値になります。

子どもの貧困というと母子世帯を想像されると思いますが、実は貧困の子どものうち、ひとり親世帯は3割程度で残りは普通のふたり親世帯です。夫婦が共に失業している、または非正規労働の若い夫婦が多く、児童養護施設にいる子どもはかなり深刻な問題を抱えている家庭が多いのです。

参考:国立社会保障・人口問題研究所社会保障応用分析研究部長 阿部彩氏(月間福祉 2014)

募集!

### THE MONO 『物』

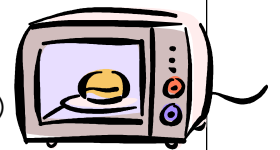
080-6535-0977までご連絡を

★未使用のシーツ、タオルセット、毛布など

★冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機、掃除機 (電化製品は清潔であれば中古も可)

★すでに1人暮らしをしているN美さんは、レンジが無くて困っています。

The Good News Caféでご紹介したM子さんは今使用している電化製品が家主さんのものなので、自分のものをそろえなければなりません。やり直し準備中のA君も順次必要です。



### おふとんプレゼンター



★今年は9名が巣立つ予定です。  
公的な自立準備金は十分ではありませんので  
綿の敷布団、羽毛の掛布団、毛布の  
3点セットを真心と一緒にプレゼントします。

一日の終わりと  
一日の始まりは、いっぽのお布団で

### ふるさと宅急便

★届いた荷物を開けるときってワクワクしませんか?それが故郷からだ尚更です。  
クリスマスや年末年始は、一年で一番浮かれるシーズンです。実は、だからこそ一番寂しいシーズンでもあるのです。  
社会の厳しさ、誘惑、孤独に負けるな!  
という想いをこめて  
『ふるさと宅急便』は  
12月に送ります。



おふとんプレゼンターの布団やふるさと宅急便の中身は、こちらで購入いたします。ひと口おいくらからでも結構ですので、『ふとん』または『ふるさと』と明記のうえ、末ページの口座までお願いいたします。

- ◆寄附◆ ありがとうございます(敬称略 順不同 末尾数字は件数)  
平成 25 年 6 月から 8 月までのご紹介です。  
入れ違いで掲載されなかった場合は次号にてご紹介させていただきます。

町田歯科医院 竹内由紀子③ マイク・ロドリゲス 東金市民生児童委員の皆様  
匿名 7 名

～ イベントの協賛をいただいた皆様は次号にてご紹介させていただきます ～



### THE MONO・・・あれこれ



引き出しの奥に眠っていたという古切手のご寄付があり  
事務費の軽減になりました。ありがとうございます。  
通信 5 号で使ったのですが、どれも美しく作業中に見惚  
れてしまったほどです。  
さて、皆様へはどんな切手が届きましたでしょうか。

### ●支援のお願い●

郵便局 口座番号 00170-8-663629 一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会  
★他金融機関からの振込用口座は…店019 当座 0663629

物による支援は保管場所がないため、そのときの子どものニーズにあったものを頂戴したい  
と思います。本号 3 ページを参考にさせていただき、お手数で申し訳ないのですが、  
まずは 080-6535-0977 荒木までご連絡をお願いします。

### 【編集後記】

この夏、暑い暑いと日に何度口にしたことでしょうか。言葉にしても涼しくはならないの  
ですが、ついつい口をついて出てしまいました。この夏の耳にタコと言えはもう  
ひとつ。「ありの～ままの～♪」もありましたね。こちらは何度も口にすることで  
現実に変換していきたいものです。言葉は言霊。現実になるといいますから。  
では、みなさんご一緒に。それっ、「レリゴー♪レリゴー♪」



一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会  
〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 389 番地一宮学園内  
事務局 電話 080-6535-0977(荒木)  
E-MAIL : [hajimeno.1.2.3po@gmail.com](mailto:hajimeno.1.2.3po@gmail.com)